

# 指導と評価の年間計画( 美術 素描 I )

岐阜県立土岐紅陵高等学校

科 目	美術 素描 I	学 年	2 学年	指導クラス	2 年 選択者	
単 位 数	4 単位	使用教科書	デッサンの基礎/ナツメ社		副教材・問題集等	

## 1. 科目の目標

素描の学習を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、専門的な美術に関する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 表現材料の特性について理解を深めるとともに、対象を深く観察して表現を工夫しながら的確に描写する基礎となる技能を見に付けるようにする。

(2) 対象のイメージや空間を把握するための基礎となる思考力, 判断力, 表現力等を育成する。

(3) 造詣表現を迫及する態度を養う。

## 2. 評価の観点の趣旨

知識・技能 (技術) a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
素描に適した表現材用の特性を生かせるよう理解を深めるとともに、対象を深く観察したことを基に表現を工夫して的確に表すことができる。	深い観察を通して、対象のイメージや空間を把握することができる。	素描の学習を通して、主体的に対象を見つめ考察を深めたり、表現材用などを研究し取り入れたりするなど、造形活動を迫及することができる。

## 3. 指導及び評価計画

月	題材	指 導 項 目	予定時間	主な学習活動 (指導内容) と到達目標	評価の場面・方法	評価の観点		
						a	b	c
4	オリエンテーション 素描で学ぶこと	・鉛筆についての理解 ・紙についての理解 ・鉛筆をナイフで削る ・モチーフについて ・先輩の作品を鑑賞する	12	・材料の理解 ・カッターナイフの使い方 ・素描の科目でどのような学習をするのかを理解し、どのような力をつけたいのか、目標を明確にする	・行動観察	○		○
		・幾何形体を描く	8	・基礎的な形態を捉えることを理解する ・光源を意識し、明暗を捉え、鉛筆の濃淡を使い表す	・作品 ・講評ノート	○		○
5	幾何形体を描く	・パースの理解	8	・様々な遠近法について理解する ・卓上静物デッサンで主に使う 2 点透視図法を理解する	・作品 ・講評ノート	○		○
		・モチーフの素材について特徴を理解する	16	・ガラス, 紙, 果物, ブロックなど, 素材の特徴を理解し, 質感を表す表現方法について学習する	・作品 ・講評ノート	○		○
6	卓上静物デッサン	・モチーフの素材について特徴を理解する	16	・ガラス, 紙, 果物, ブロックなど, 素材の特徴を理解し, 質感を表す表現方法について学習する	・作品 ・講評ノート	○		○
7	卓上静物デッサン	・デッサンコンクール	16	・これまでに学習した, パース, 質感, 明暗, の知識を働かせ, 課題となるモチーフを描く	・作品 ・講評ノート		○	○
8 9 10	自画像を描く	・顔のパーツについて理解する	32	・顔のパーツについて理解したことを生かして自分の顔を表情豊かに表す	・作品 ・講評ノート	○		○
11	風景を描く	・樹木のかたちを理解する	16	・中庭の木々をモチーフにして, それぞれの樹木の特徴を捉え, 表情豊かに描く	・作品 ・講評ノート	○		○
12	人物クロッキー	・人体の動きや重心を理解する	16	・クラスメイトをモデルにして, 人体の特徴を捉え, クロッキーする ・人体の重心について理解し, バランスの取れた人物クロッキーができるようにする	・作品 ・講評ノート	○		○
1 2	イメージして描く	・デッサンコンクール	16	・課題に対し, 想像力を働かせて, 1 年間で身に付けた技術を生かし, 描く	・作品 ・講評ノート	○	○	○
			140					